

高齢者や認知症の人の
気持ちをを知る

千葉県福祉ふれあいプラザの

疑似体験 プログラム

徘徊中の認知症の人はどんな思いで街をさまよっているのだろうか？ その気持ちが疑似体験できると聞き、千葉県福祉ふれあいプラザを訪ねた。

「瞬で80歳を体験!」
「うらしま太郎」

同プラザは介護予防運動や介護実習などの実施、福祉用具・介護用品や住宅改修

の相談まで介護に関する情報を総合的に網羅した施設だ。「体験コーナー」では高齢者疑似体験・車いす体験・認知症疑似体験を実施しており、

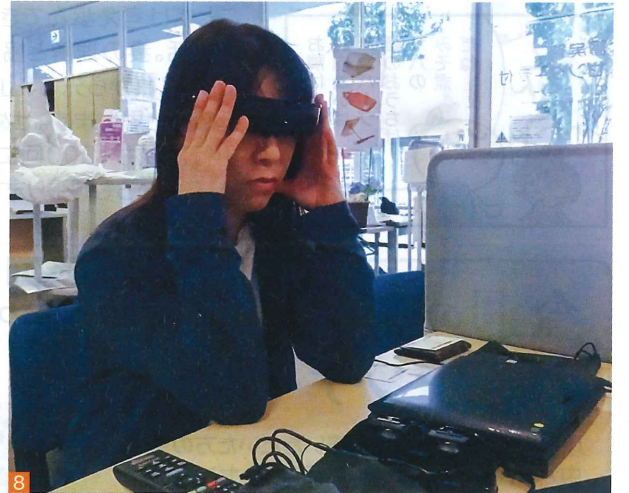
年間200〜300人が訪れるという。

高齢者疑似体験プログラム「うらしま太郎&つくし君」は、耳栓や特殊眼鏡、重りなどを装着して「あつ」という間に「80歳」の身体感覚を体験できるというもの。高齢者が日々感じる不便さやもどかしさが理解できる。

室内の一角には車いす体験コーナーがある。ぬかるみを表現したマットや段差のあるコースを、車いすや高齢者用カートで移動する。小さな段差が想像以上に煩わしいことに驚いた。

心細い気持ちで街を徘徊する18分

お目当ての認知症疑似体験プログラムを受けてみた。イヤホンと特殊グラスを装着して18分間のDVD



7

回想法支援カードの一例



6



5

5.6.6月末まで回想法支援カードを展示。懐かしいものを見ると脳が活性化するという／7.コンパクトな装置で体験できる／8.認知症の人の気持ちを疑似体験中

を見る。認知症の高齢者の目線で家から街に出て行く様子が映し出される。耳に付く車の走行音。「買い物に行かなくちゃ」「ジュース」「家に帰らなくては」「足が痛い...」心の声が時々映し出されるが家にはたどり着けない。夜じゅう歩き回り、朝になつてちやうど保護者

を見た...。高齢者や認知症の人の気持ちに寄り添う連の疑似体験プログラム。一般の人の体験も可能。興味のある人は問い合わせしてみよう。(R)

※問い合わせ

☎04(166)2000
同プラザ(我孫子市本町3-1-2)



1



2



3



4

1.「健康な80歳」の身体感覚を疑似体験できる「うらしま太郎」／2.片まひの人や、下肢にまひがあってもどちらか一方の脚が少しでも動く人でも動かせる車いす／3.アシストカー他さまざまな介護ツールを展示／4.車いす体験コーナーで歩行アシスト装置を押してみる